

# 第二期武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）

## 令和4年～令和13年

中間のまとめ 骨子案  
(パブリックコメント用)

令和3年9月21日版

武蔵野市



はじめに



## 目次

第1章 計画の基本的な考え方.....	1
1. 計画の趣旨.....	3
2. 計画の位置付け.....	4
3. 本計画におけるスポーツ.....	5
4. 計画の期間.....	7
第2章 武蔵野市のスポーツを取り巻く現状と課題.....	8
1. スポーツを取り巻く社会情勢と政策動向の変化.....	10
2. これまでの取組の実績と評価.....	13
3. 市民等のスポーツに関する意識・行動.....	15
4. 市のスポーツ環境.....	28
5. 課題のまとめ.....	31
第3章 基本理念・施策.....	35
1. 基本理念・基本方針.....	37
2. 施策体系.....	40
3. 具体的な施策.....	42
4. 重点施策.....	55
第4章 体育施設類型別施設整備計画.....	56
1. ××××○××××○.....	58
参考資料.....	59
1. 武蔵野市第二期スポーツ振興計画策定の経過.....	61
2. 用語説明.....	61
3. 武蔵野市第二期スポーツ振興計画策定委員会委員名簿.....	61



# 第 1 章 計画の基本的な考え方





## 1. 計画の趣旨

本市では、平成 21 年 4 月に、多様な市民がのびのびと自由に身体を動かし、様々なスポーツに取り組める場や機会を整えていくことで生涯スポーツ社会を目指し、本市のスポーツ施策を総合的に推進する指針として、「武蔵野市スポーツ振興計画（平成 21 年度～平成 30 年度）」を策定しました。

武蔵野市スポーツ振興計画は、2つの基本理念「人の視点」と「地域の視点」に基づき、4つの基本方針「きっかけづくりの充実」（広げる）、「継続するための取組」（つなぐ）、「既存資源の活用」（活かす）、「ライフスタイルの構築」（育む）と、そのための2つの実現化方策「情報提供の充実」（伝える）、「連携づくり」（支える）により構成され、スポーツ施策を推進してきました。

武蔵野市スポーツ振興計画の策定以降、国のスポーツ基本法の制定（平成 23 年）及びスポーツ基本計画（第一期）の策定（平成 24 年）、ラグビーワールドカップ 2019(TM)及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」）の開催決定など、スポーツに関する大きな状況の変化がありました。このような変化を受けて、平成 28 年 4 月に本市のスポーツ振興計画を一部改定し、計画期間を令和 3 年度までと設定しました。

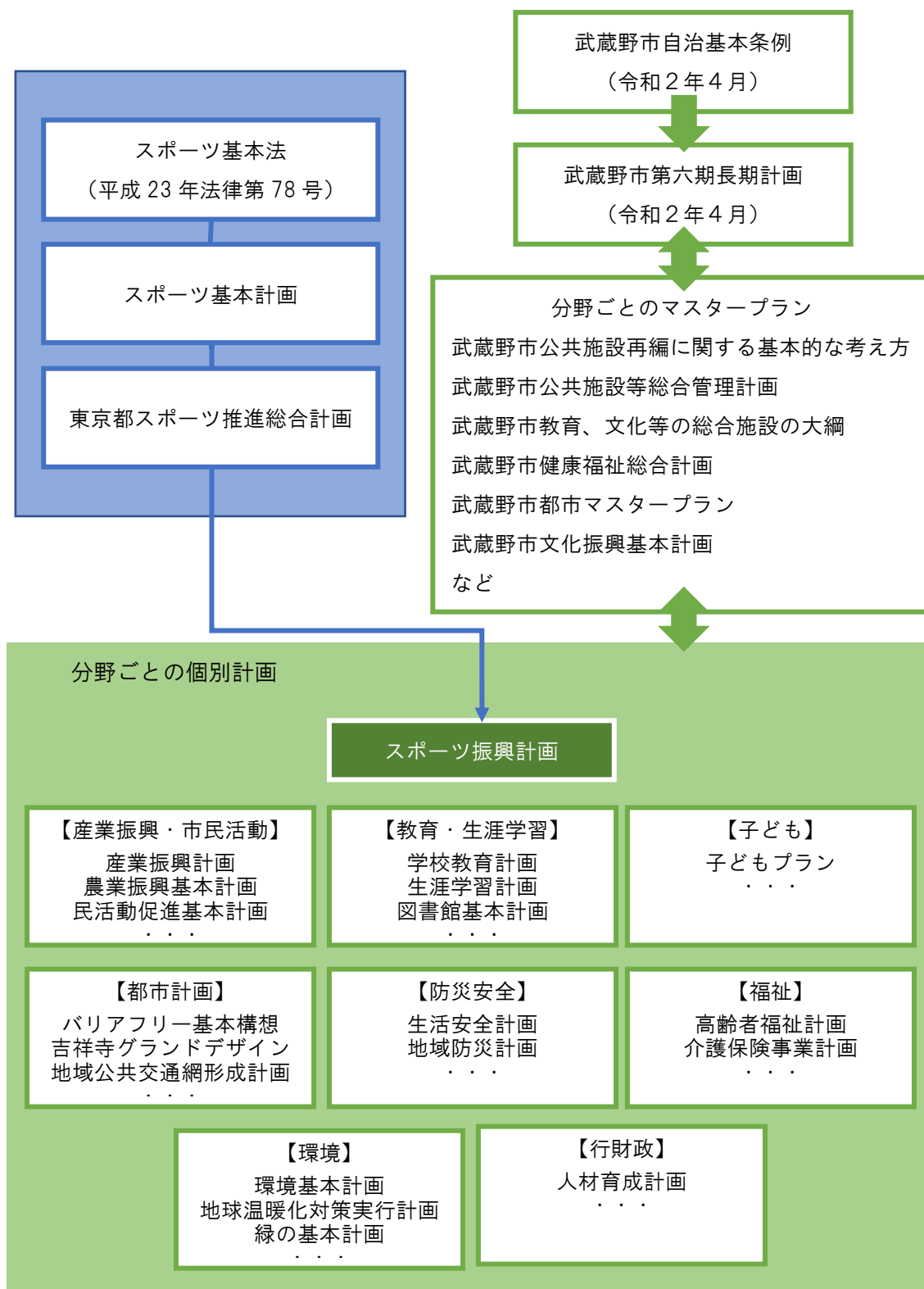
平成 28 年に一部改定した武蔵野市スポーツ振興計画が計画期間終了を迎えるとともに、この間、ラグビーワールドカップ 2019(TM)及び東京 2020 大会の開催や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う新たな生活様式の普及・定着など、スポーツを取り巻く環境は著しい変化がみられます。また、老朽化している市立スポーツ施設の整備についても検討が必要な時期を迎えています。

以上のことから、武蔵野市第六期長期計画に基づき、武蔵野市におけるスポーツ振興に係る事業を体系化し、スポーツ振興に係る施策を総合的に推進することを目的として、第二期武蔵野市スポーツ振興計画を策定することとしました。

## 2. 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第10条第1項に規定する「地方スポーツ推進計画」であり、本市がスポーツを推進する上で目指すべき施策の方向性や取組を体系的に示したものです。

上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」と分野ごとのマスタープランと整合を図りつつ、分野ごとの個別計画と連携を図る計画として位置付けます。さらに、国や東京都の計画の目指す方向性や内容の趣旨と整合を図るよう留意します。



### 3. 本計画におけるスポーツ

#### (1) スポーツの価値や可能性

スポーツ基本法において、スポーツは、「世界共通の人類の文化」であるとともに、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」であり、「次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすもの」とされています。

また、国が策定した「第2期スポーツ基本計画」では、社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じて「共生社会の実現」「健康増進」「経済・地域の活性化」などに積極的に取り組むことを掲げています。東京都が策定した「東京都スポーツ推進総合計画」においても、スポーツを通じた「健康長寿の達成」、「共生社会の実現」、「地域・経済の活性化」を大きな政策目標とし、スポーツ施策を推進しています。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、外出自粛による運動不足や人と人との接点の希薄化が進む中、スポーツは市民の心身の健康づくりや充足感の醸成、人と人との交流の促進、地域の一体感や活力の醸成に寄与する重要な活動であるということが再認識されています。

このように、スポーツは個人として楽しさや喜びを得られるだけでなく、地域の課題解決に資する役割も期待されています。

## (2) スポーツの定義

スポーツ (sport) は、ラテン語の「deportare (デポルターレ)」に由来する単語とされています。「deportare」は、「ある物がある場所から他の場所に移す」という意味から派生し、「心の重い、嫌な、塞いだ状態をそうでない状態に移す」、すなわち「気晴らしをする」、「楽しむ」、「遊ぶ」などを意味していました。この言葉が、古フランス語の「desport」を経て、現在の「sport」に至ったとされています。また、競技や種目の集合体を表現する際に用いられることが一般的な「sports」と異なり、「sport」は人類共通の文化としてのスポーツを意味する言葉としてとらえられています。

本計画では、市民がスポーツ (sport) をより身近なものとして楽しみ、人類共通の文化として親しむことができるように、スポーツの語源や「スポーツ基本法」で示されている定義を踏まえ、スポーツの概念を幅広くとらえます。具体的には、勝敗や記録を競うものだけではなく、身体を動かす遊びやレクリエーション、ウォーキングや体操、トレーニングなどの健康づくり・介護予防のための運動、自然に親しむ野外活動、電子機器を利用してゲーム感覚で身体を動かす活動なども含め、自発的に楽しむ身体活動すべてをスポーツとしてとらえます。

## 4. 計画の期間

本計画の計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とします。また、今後も予想される社会情勢やスポーツ政策動向の変化に的確に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

年度	令3 2021	令4 2022	令5 2023	令6 2024	令7 2025	令8 2026	令9 2027	令10 2028	令11 2029	令12 2030	令13 2031	
長期計画 (総合計画)	第六期長期計画											
		実行計画	→	←	展望計画	→						
		策定	第六期長期計画・調整計画									
						策定	第六期長期計画					
スポーツ振興計画	策定	第二期スポーツ振興計画(仮称) 令和3～令和12年度										
	計画・設計等			工事	令和6年度に総合体育館大規模改修工事を行う。令和3年度から基本計画の規定を開始し、令和5年度にかけて基本設計・実施設計を行う。							
										策定		

市民、専門家、関係団体等の参加のもとに策定した個別計画との整合性を重視し、総合的に策定する。

## 第2章 武蔵野市のスポーツを取り巻く現状と課題



# 1. スポーツを取り巻く社会情勢と政策動向の変化

## (1) 社会情勢の変化

### ①新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、運動不足による健康二次被害、スポーツに親しむ上で「新しい生活様式」の対応の必要性、スポーツ施設の利用制限、学校運動部活動やアマチュアのスポーツ大会・イベントの延期・中止などが生じています。国が示した「新たな生活様式」を留意、実践しながらスポーツに親しむことが求められています。

### ②ICTなどのデジタル技術革新の進展

ICT、AI（人工知能）、VR・ARなどの技術開発が急速に進展しています。これらの技術は、新しい産業の創出・発展や企業の生産性向上のみならず、人々の働き方やライフスタイル、健康管理、教育など、市民の生活に関わるあらゆる分野での活用が期待されています。スポーツ分野においても、個人・法人を問わないトレーニング動画のオンライン配信や、VR・ARを活用した新たなスポーツなど、多様な楽しみ方の創出が期待できます。

### ③健康寿命の延伸と人生100年時代の到来

日本人の健康寿命は世界最高水準であり、更なる延伸が予想されています。こうした背景を受け、政府は「人生100年時代構想会議」を立ち上げ、幼少期から高齢者まで全ての人々が元気に活躍し続けることのできる社会の実現を目指しています。人生100年時代の基盤は一人ひとりの心身の健康なからだであり、スポーツは市民の健康づくりや仲間づくりに寄与する活動として期待できます。

### ④多様性を認め合うまちの実現

「共生社会」とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会であり、国は、このような社会を目指すことを最も積極的に取り組むべき重要な課題と捉えています。

これからは、スポーツに親しむことのできる場においても、性別、年齢、ライフスタイルの違いや障害の有無、国籍や性自認、性的指向等の違いを超え、多様性を尊重し合い、人権が守られることが重要です。

### ⑤国連によるSDGsの採択

SDGs（持続可能な開発目標）は、平成27年9月の国連サミットで採択された令和12年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するため、健康や教育、



ジェンダー平等など 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを目指しています。スポーツは健康、教育、コミュニティ強化などに寄与するものとして期待されています。スポーツ庁は、このSDGsの達成にスポーツで貢献しようという姿勢を見せています。

## ⑥高齢化の進展

全国的に人口減少傾向が加速する中、武蔵野市の人口は直近5年間で約4,000人増加しており、令和3年1月1日時点では約14万7千人となっています。平成30年に市で実施した人口推計では、令和5年には15万人を突破し、令和30年には約16万2千人になると推計しており、増加する見込みとなっています。

将来年齢3区分人口（日本人人口）の比率をみると、65歳以上の老年人口比率は平成27年の21.8%から令和30年に31.8%に達し、特に後期高齢者の割合が増加することが見込まれています。

## ⑦国際スポーツ大会のレガシー

令和元年にはラグビーワールドカップ2019(TM)が開催され、開幕前の予想を大きく上回る盛り上がりを見せました。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催年が令和3年に延期となりましたが、安心・安全に大会を開催できるよう検討が進められています。

このような国際スポーツ大会を契機に推進したパブリックビューイングや海外チームとの交流、スポーツに対する機運の高まりなど、レガシーを活かした取組が求められます。

## ⑧サービスのパーソナライズ化

人々のライフスタイルや意識の多様化が進む中、一人ひとりの暮らしの状況に応じたサービスの在り方が求められています。スポーツにおいても、一人ひとりのからだのつくりや、興味・関心、能力などが異なるがゆえに、スポーツメーカーやトレーニングジムなどでは様々なサービスのパーソナライズ化を進めています。

市においても、一人ひとりの意識や状況に留意しながら、限られた資源を効果的・効率的に活用したスポーツサービスを提供することが必要です。

## (2) 政策動向の変化

### ①国の動向

国は、平成 27 年に策定された「第 2 期スポーツ基本計画」に基づき日本のスポーツ政策を推進しており、スポーツを「する」「みる」「ささえる」参画人口の拡大を目指し、成人の週 1 日以上スポーツ実施率を 65%以上にすることを目標に掲げています。また、スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実として、指導者やボランティアの育成・確保、総合型地域スポーツクラブの質的充実、スポーツ施設やオープンスペースの有効活用等のスポーツに親しむ場の確保を推進しています。

令和 3 年 4 月には、スポーツ庁のスポーツ審議会において、第 3 期スポーツ基本計画の部会が設置され、令和 4 年 3 月末の策定を目指し審議が進められています。第 3 期スポーツ基本計画では、特に踏まえるべき観点として、障害者、女性、子ども、高齢者等、多様な主体のスポーツへの参画や、行政、スポーツ団体、学校、民間事業者との連携・協力、デジタル技術をはじめとした新技術やデータの活用などがあげられています。

### ②東京都の動向

東京都は、障害者スポーツの推進を含めた「東京都スポーツ推進総合計画」を平成 30 年に策定し、スポーツを通じた「健康長寿の達成」「共生社会の実現」「地域・経済の活性化」を施策の柱として位置付け、スポーツ振興施策を推進しています。スポーツ実施の促進にあたっては、都民のスポーツへの関心・行動の段階により施策が異なると考え、「関心喚起策」「実行促進策」「継続支援策」の 3 つの視点による施策を展開しています。



(5) xxxxxOxxxxxO

xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxx●xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx●xxxxxOxxxxx  
xxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx  
xOxxxxx●xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx  
OxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx●

(6) xxxxxOxxxxxO

xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxx●xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx●xxxxxOxxxxx  
xxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx  
xOxxxxx●xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx  
OxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx●

(7) xxxxxOxxxxxO

xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxx●xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx●xxxxxOxxxxx  
xxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx  
xOxxxxx●xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx  
OxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx●

(8) xxxxxOxxxxxO

xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxx●xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx●xxxxxOxxxxx  
xxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx  
xOxxxxx●xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx  
OxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxx●

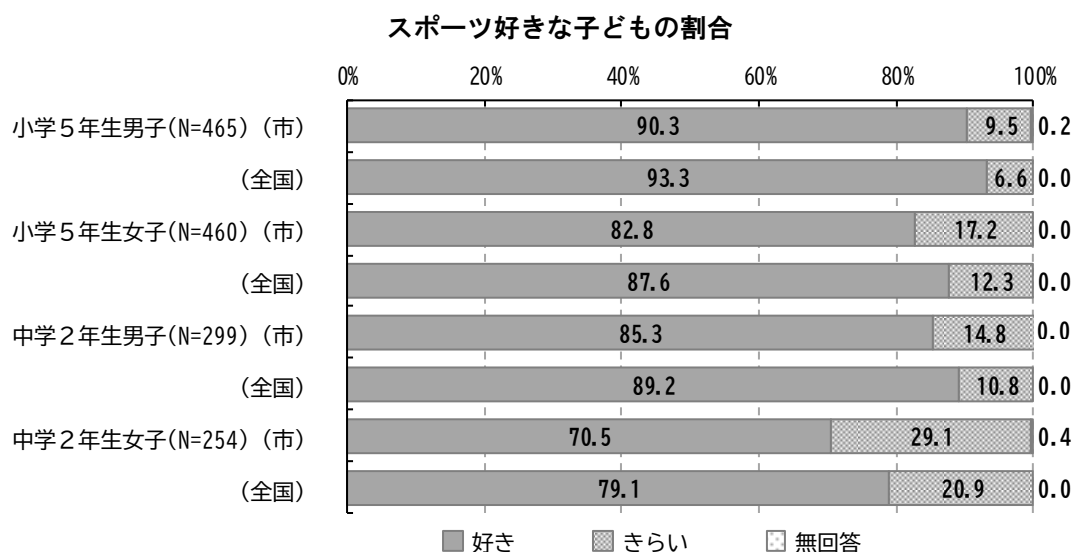
### 3. 市民等のスポーツに関する意識・行動

#### (1) するスポーツについて

##### ①子どものスポーツ

本市のスポーツを好きな小学5年生男女、中学2年生男女の割合はそれぞれ全国よりも低く、特に中学2年生女子は約7割と最も低くなっています。

スポーツをきれいな理由は、学年・性別にかかわらず「得意ではないから」が最も多く、スポーツを上手くできなかった経験や周囲の人から認められなかった経験が少なからず「きれい」という意識に影響していると考えられます。



注1) 「好き (きれい)」は「好き (きれい)」と「やや好き (ややきれい)」の合計です。

注2) 「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、上記結果のN数は公開していない。

出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」  
 スポーツ庁（令和元年度）「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

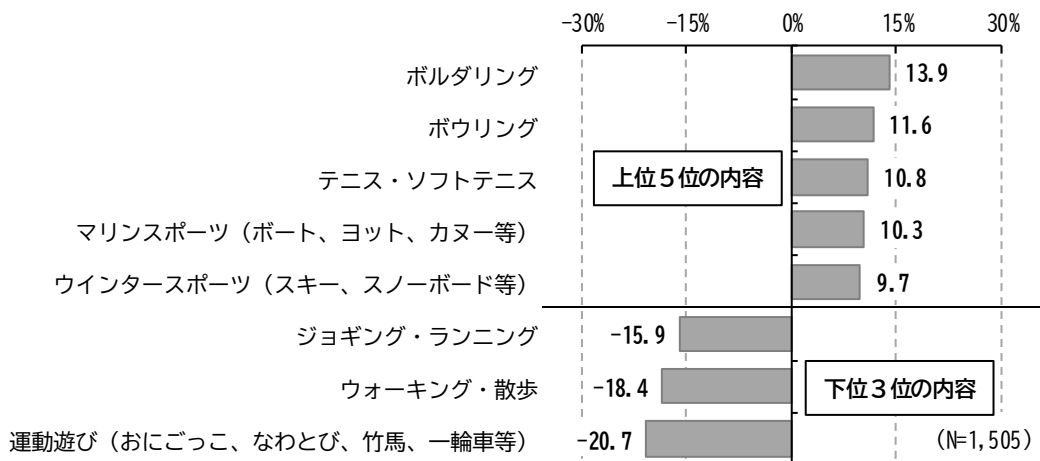
子どものスポーツ推進に関する代表的な取組とその成果を掲載予定

子ども（小学5年生と中学2年生の合計（N=1,505））が過去1年間で体育の授業のほかに、1日30分以上したスポーツ実施内容は、「運動遊び（おにごっこ、なわとび、竹馬、一輪車等）」が最も多く、次いで「ウォーキング・散歩」、「ストレッチ」でした。一方、今後のスポーツ実施希望内容は、「運動遊び（おにごっこ、なわとび、竹馬、一輪車等）」が最も多く、次いで「バドミントン」、「ボウリング」となっています。

この結果を踏まえ、実施内容と実施希望内容との割合の差を算出しました。この差が大きければ大きいほど、現在は実施していませんが、今後実施したいという子どもが多いということがわかります。

この差について上位5位までの内容をみると、「ボルダリング」（13.9%）が最も大きく、次いで「ボウリング」（11.6%）、「テニス・ソフトテニス」（10.8%）、「マリンスポーツ」（10.3%）、「ウィンタースポーツ」（9.7%）となっており、レクリエーション要素の強い内容や自然の中で活動するアクティビティのニーズが高いことがわかります。

子どものスポーツ実施内容と実施希望内容との差（上位5位と下位3位）



出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

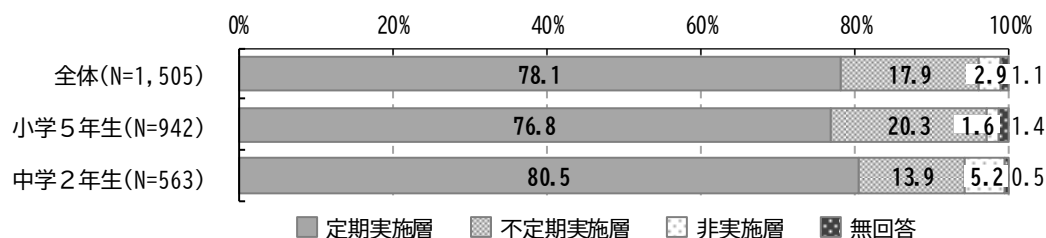
子どもにおける過去1年間のスポーツの実施状況を頻度別に「定期実施層」「不定期実施層」「非実施層」の3つに分類しました。各分類の定義と割合は以下の図表の通りです。

「定期実施層」は小学5年生（76.8%）よりも中学2年生（80.5%）の方が多くなっている一方で、「非実施層」も小学5年生（1.6%）よりも中学2年生（5.2%）の方が多くなっています。この結果から、小学生よりも中学生の方がスポーツ実施の二極化傾向がより顕著となっていることがわかります。

子どもにおけるスポーツ実施状況の分類

分類	定義
定期実施層	過去1年間で体育の授業のほかに1日30分以上スポーツを実施しており、かつ週に1日以上頻度で実施した児童・生徒
不定期実施層	過去1年間で体育の授業のほかに1日30分以上スポーツを実施したが、週に1日未満の頻度で実施した児童・生徒
非実施層	過去1年間で体育の授業のほかに1日30分以上スポーツを実施しなかった児童・生徒

子どものスポーツ実施状況



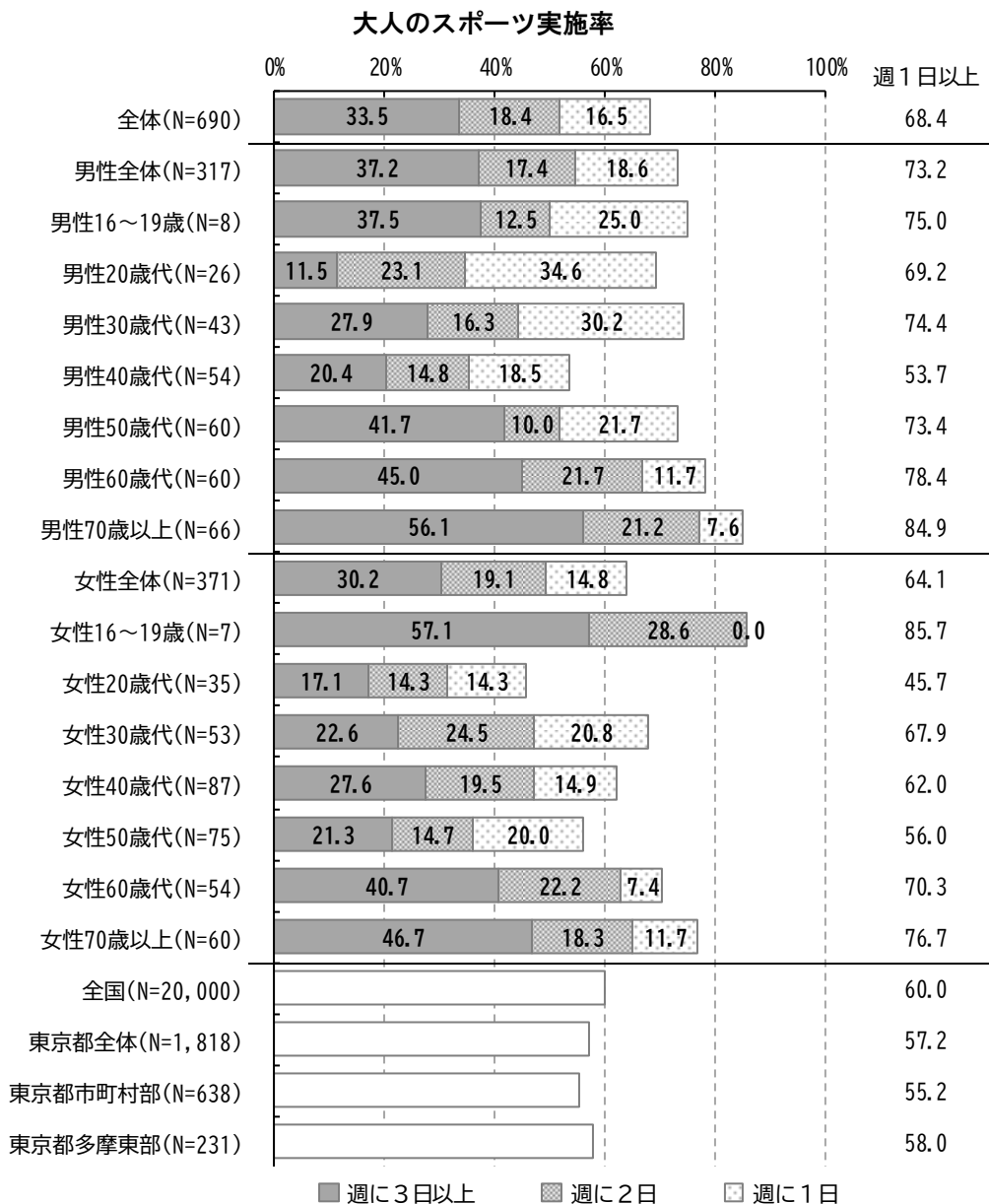
出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

## ②大人のスポーツ

本市全体の週1日以上のスポーツ実施率（68.4%）は全国（60.0%）や東京都全体（57.2%）よりも高く、国が目標として掲げる65.0%を上回っています。

性別×年代別にみると、男性40歳代（53.7%）、女性20歳代（45.7%）が顕著に低くなっており、働き盛り世代や子育て世代といわれるスポーツ実施率に課題があることがうかがえます。

子どもの時と同様に、スポーツの実施内容と実施希望内容との割合の差を算出しました。この差を全体でみると、「登山・ハイキング・釣り」「水泳」が大きくなっており、アウトドアスポーツや水泳のニーズが高いことがわかります。



注) 全国と東京都の結果は「週1日以上」のスポーツ実施率のみ示しています。

出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」  
 スポーツ庁（令和2年度）「スポーツの実施状況等に関する世論調査」  
 東京都（平成30年度）「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」

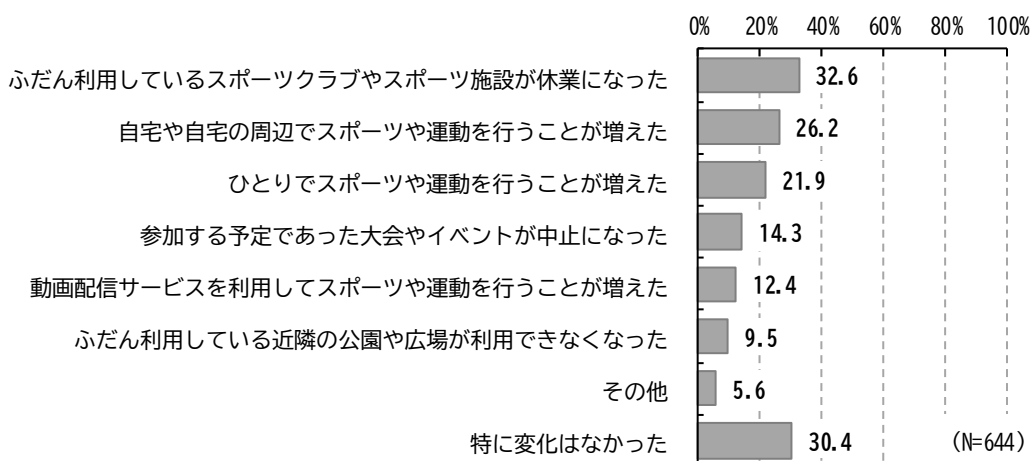


新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツ実施状況の変化は、「ふだん利用しているスポーツクラブやスポーツ施設が休業になった」が3割強と最も多く、次いで「自宅や自宅の周辺でスポーツや運動を行うことが増えた」が3割弱、「ひとりでスポーツや運動を行うことが増えた」が2割強となっています。

「施設休業」「大会・イベント中止」というネガティブな変化がみられる一方で、「自宅や自宅周辺」「ひとり」「動画配信」という変化によりスポーツを継続している人もいることがわかりました。

「動画配信」に着目して性別×年代別にみると、女性 20～50 歳代が全体と比べて高くなっています。女性 20～50 歳代における週 1 日以上スポーツ実施率は、それぞれ全体よりも低かったにもかかわらず、「動画配信」と回答した人の割合は全体よりも高くなっていることから、動画配信サービスが女性 20～50 歳代のスポーツ実施率の下げ止まりに一定程度寄与したと考えられます。

#### 新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツ実施状況の変化

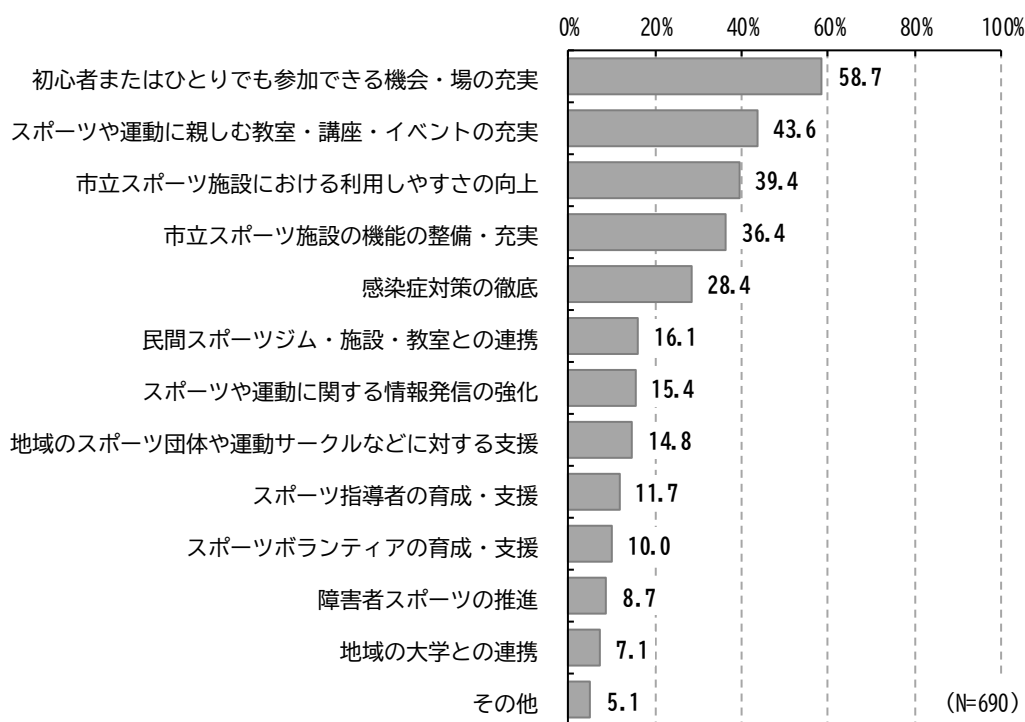


出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

動画配信に関する代表的な取組とその成果を掲載予定

武蔵野市のスポーツ推進のために今後力を入れるべき取組は「初心者またはひとりでも参加できる機会・場の充実」が6割弱と最も多く、次いで「スポーツや運動に親しむ教室・講座・イベントの充実」が4割強、「市立スポーツ施設における利用しやすさの向上」が約4割、「市立スポーツ施設の機能の整備・充実」が4割弱となっています。「初心者」「ひとり」「機会」「施設の利用しやすさ・機能充実」がキーワードとなっていることがわかります。

武蔵野市のスポーツ推進のために今後力を入れるべき取組

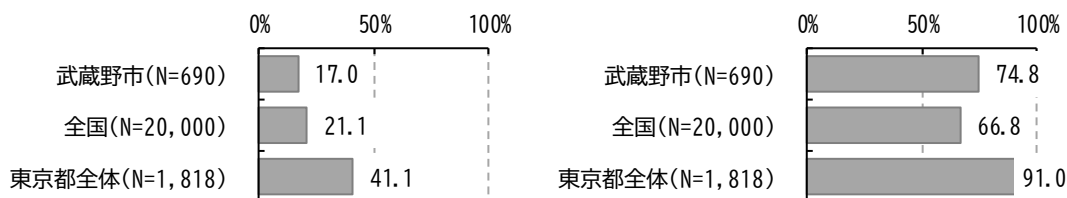


出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

## (2) みるスポーツについて

過去1年間のスポーツ観戦率について、直接観戦率は全国（21.1%）や東京都全体（41.1%）よりも低く、テレビ等（テレビ、ラジオ、インターネット）での観戦率は東京都全体（91.0%）よりも低いが全国（66.8%）よりは高くなっています。

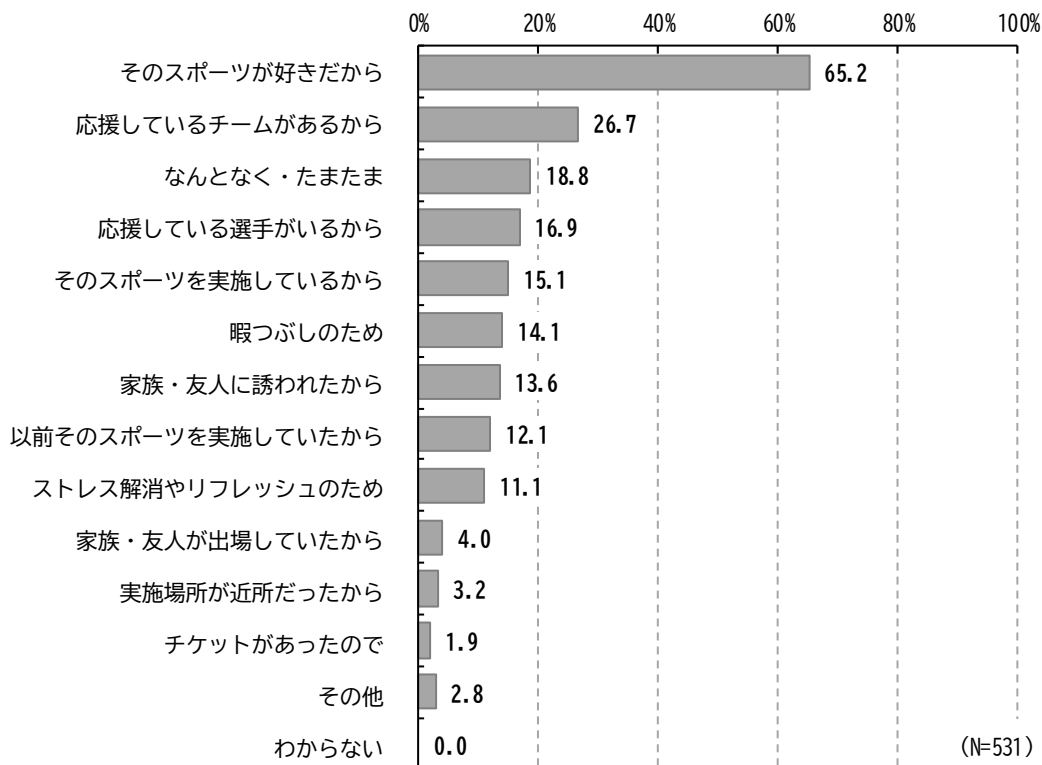
過去1年間のスポーツ観戦率（左：直接観戦率、右：テレビ等での観戦率）



出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」  
 スポーツ庁（令和2年度）「スポーツの実施状況等に関する世論調査」  
 東京都（平成30年度）「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」

スポーツの観戦理由は「そのスポーツが好きだから」が約6.5割と最も多く、次いで「応援しているチームがある」が3割弱となっており、スポーツ観戦とスポーツ実施、スポーツを支える活動は相互に関連している行為であることがうかがえます。市民の自由意見からは、親子で様々なスポーツを応援・観戦する機会をもっと増やしてほしいというニーズがみられました。

スポーツを観戦した理由



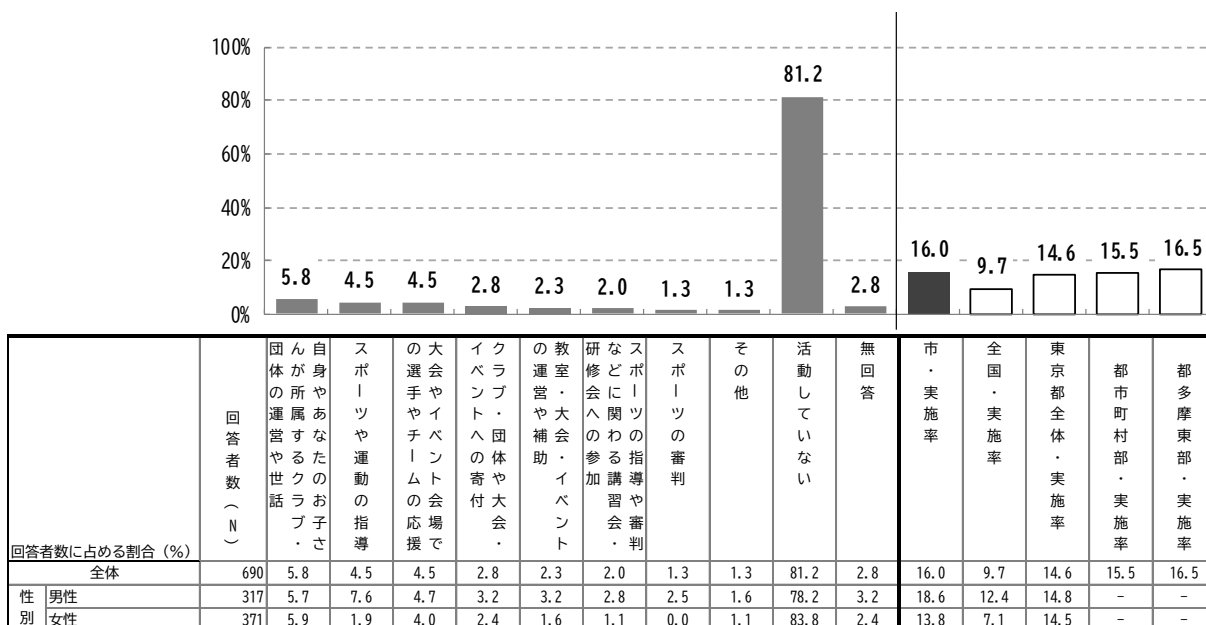
出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

### (3) ささえるスポーツについて

過去1年間のスポーツボランティアの実施率(16.0%)は全国(9.7%)や東京都全体(14.6%)よりも高くなっています。活動内容をみると、「自身やあなたのお子さんが所属するクラブや団体の運営や世話」が最も多く、次いで「スポーツや運動の指導」「大会やイベント会場での選手やチームの応援」となっており、「団体の運営や世話」「指導」「応援」がキーワードとなっていることがわかります。

実施率を性別にみると、男性の方が女性よりも高く、特に「スポーツや運動の指導」が多いことから、スポーツの現場では男性の指導者が多いことがわかります。

過去1年間のスポーツボランティア実施内容

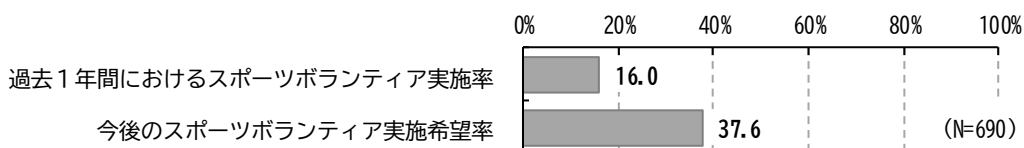


出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

今後のスポーツボランティア実施希望率(37.6%)は、過去1年間のスポーツボランティア実施率(16.0%)の2倍以上であり、市民のニーズの高さがうかがえます。

スポーツボランティアを実施するきっかけや実施者を増やすために必要な取組について、一般市民は「機会、きっかけがあれば」「短時間でも行える活動であれば」「ひとりでも参加しやすい活動であれば」「自宅、職場、学校などから近い場所であれば」であり、「機会」「短時間」「ひとり」「近い場所」がキーワードとなっていることがわかります。一方、関係団体は「体力面で負担がかかれば」という回答も多く、「体力面での負担」を感じていることがうかがえます。

過去1年間のスポーツボランティア実施率と実施希望率



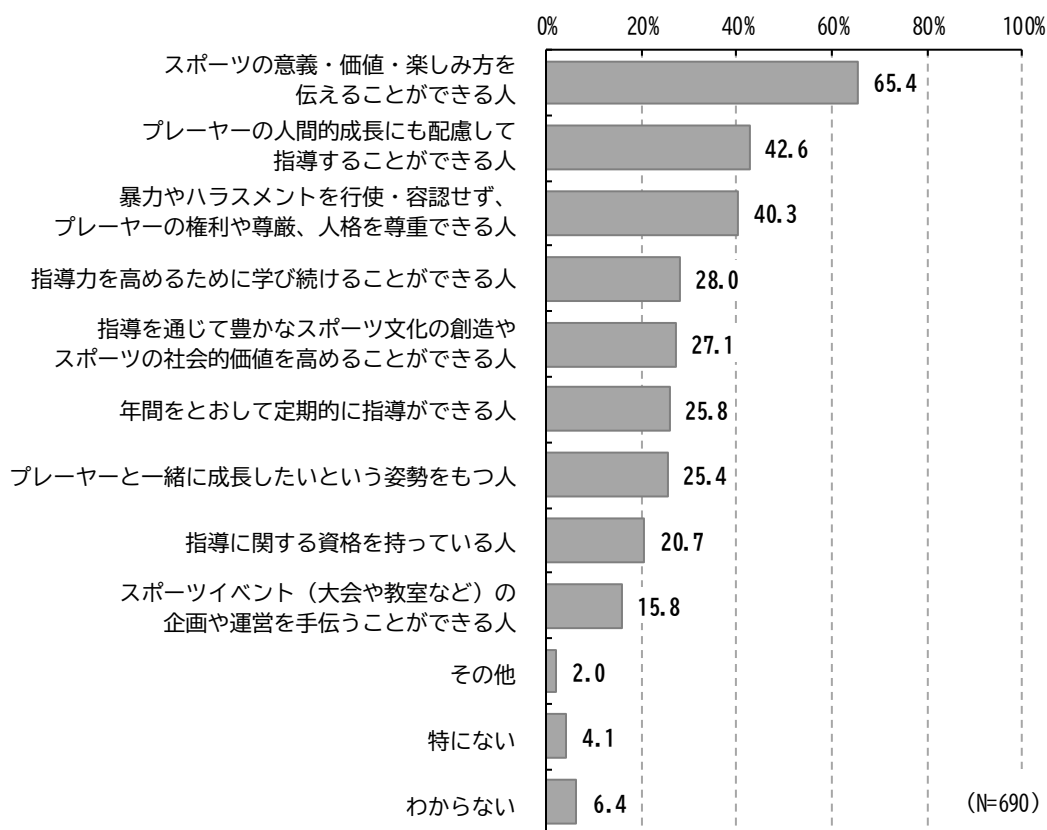
出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

大人がスポーツ指導者に求める資質は、「スポーツの意義・価値・楽しみ方を伝えることができる人」が約 6.5 割と最も多く、次いで「プレイヤーの人的成長にも配慮して指導することができる人」が 4 割強、「暴力やハラスメントを行使・容認せず、プレイヤーの権利や尊厳、人格を尊重できる人」が約 4 割となっています。

大人にとってスポーツの指導という視点では、勝ち負けで判断する指導ではなく、楽しみ方を伝えたり、人間性や人格を高めたりする指導を望む意見が多いことがわかります。

また、ヒアリング調査によると、子どもが所属するスポーツチームの指導者は、子どもの小学校卒業とともに辞めることが多く、指導者の確保に向けて、単なるスポーツの指導という側面だけではなく、地域の人とのつながりやコミュニティを形成するきっかけになるということも PR すべきという意見もありました。

スポーツ指導者に求める資質



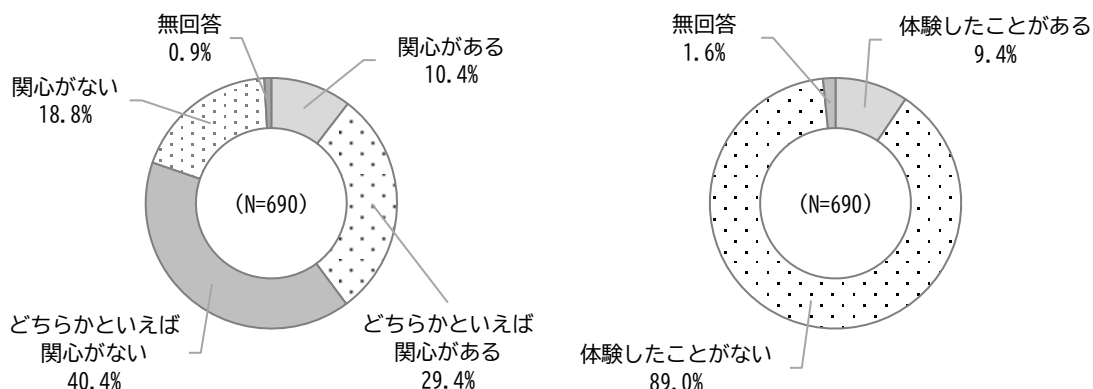
出典：武蔵野市（令和 2 年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

ヒアリング調査の概要を掲載予定

## (4) 障害者スポーツについて

障害者スポーツに対する関わり状況を見ると、関心がある人（「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）は約4割、体験したことがある人は約1割となっています。障害者スポーツを体験したことがない理由は「身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから」「障害者スポーツを身近な場所でやっていないから」が多く、障害者スポーツに馴染みがないことがうかがえます。

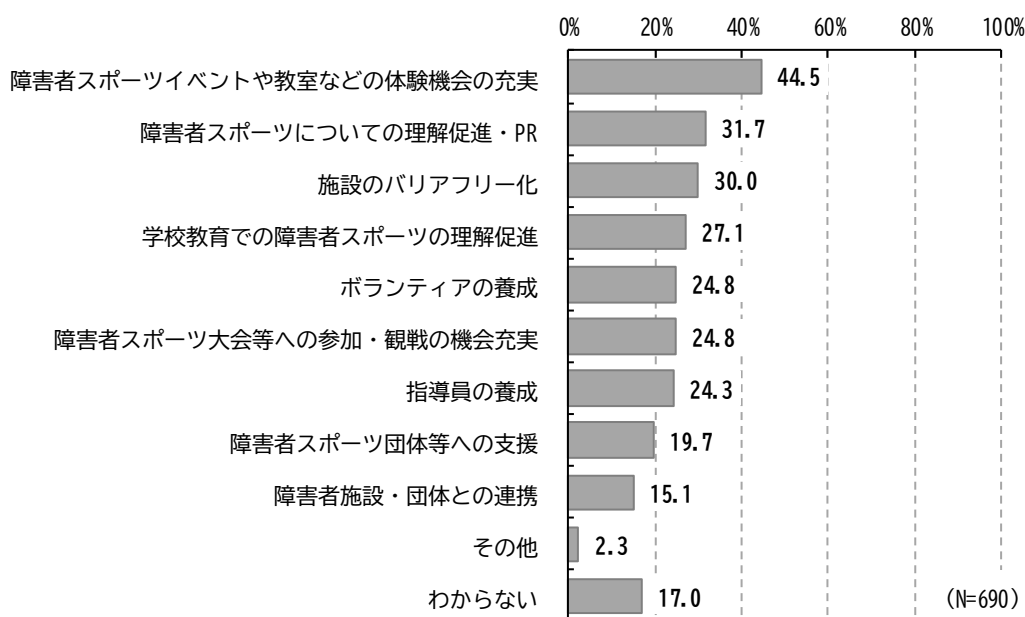
障害者スポーツに対する関わり状況（左：関心の有無、右：体験の有無）



出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

障害者がスポーツを実施しやすい環境づくりのために必要な取組は、「障害者スポーツイベントや教室などの体験機会の充実」が約4.5割と最も多く、次いで「障害者スポーツについての理解促進・PR」が約3割、「施設のバリアフリー化」が3割となっており、キーワードは「機会」「理解」「バリアフリー」であった。

障害者がスポーツを実施しやすい環境づくりのために必要な取組



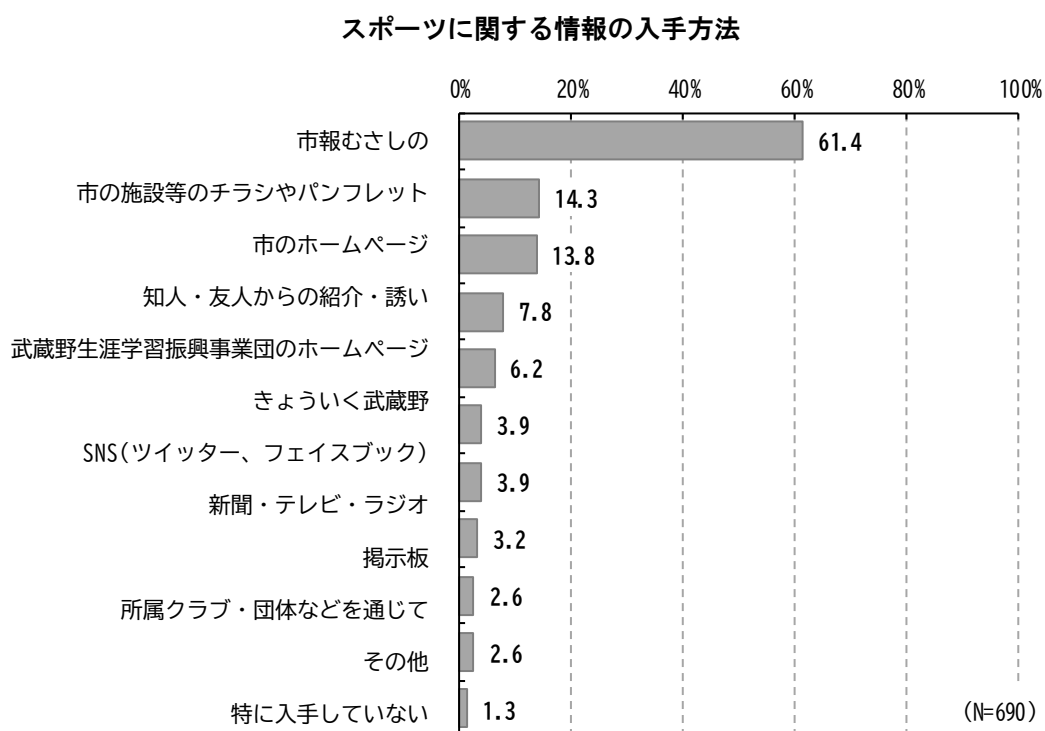
出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

## (5) 情報社会におけるスポーツについて

本市のスポーツに関する情報の入手方法は「市報むさしの」が6割強と最も多く、次いで「市の施設等のチラシやパンフレット」が約1.5割、「市のホームページ」が1割強となっています。

一方、今後の希望入手方法は「市報むさしの」が6割強というのには変わりませんが、次いで「市のホームページ」が3割弱、「市の施設等のチラシやパンフレット」が約2割と、上位2位と3位の順位が入れ替わっている。

希望入手方法の割合と現在の入手方法の割合の差をみると、「市のホームページ」が最も大きく、次いで「SNS(ツイッター、フェイスブック)」となっており、ICTを活用した情報発信が求められてることがわかります。



出典：武蔵野市（令和2年度）「武蔵野市のスポーツ・運動に関するアンケート調査」

**情報発信に関する代表的な取組とその成果を掲載予定**

## (6) スポーツ施設の整備について

### 項目立てて掲載するか相談希望

#### ①武蔵野総合体育館

武蔵野総合体育館の設備等に対する満足度をみると、「開館時間の適切さ」(89.5%)が最も多く、次いで「1回の利用時間帯の適切さ」(87.6%)、「施設の清潔さ」「感染症対策の徹底」「職員・スタッフの対応の良さ」(同率 84.8%)となっている。

武蔵野総合体育館の設備等の満足度と重要度から、重要にもかかわらず満足していない項目を抽出すると、「トイレの快適さ」「防犯上の安全さ」「施設情報のわかりやすさ」となっており、優先的な課題であることがわかる。

武蔵野総合体育館の改修工事に期待することについて、成人等、関係団体、施設利用者の3つの対象で上位5項目を比べたところ、全ての対象で「広くてきれいな更衣室・シャワー・パウダールーム・洋式トイレ等の設置」が1位となっている。また、「感染症対策の徹底(非接触式の水栓、換気設備、ゆとりある空間の確保)」は全ての対象で3割を超えている。

「カフェやラウンジの併設」は、成人等と比べて関係団体及び施設利用者の割合が高く、武蔵野総合体育館に親しみのある人からより期待されているとうかがえる。

「性別」にみると、女性は男性よりも「広くてきれいな更衣室・シャワー・パウダールーム・洋式トイレ等の設置」と「感染症対策の徹底(非接触式の水栓、換気設備、ゆとりある空間の確保)」が10ポイント以上多くなっている。

「年代別」にみると、30歳代以下は「トレーニングジムスペースの十分な確保」や「カフェやラウンジの併設」が多い一方、40歳代以上は「感染症対策の徹底(非接触式の水栓、換気設備、ゆとりある空間の確保)」が多くなっており、年代により異なる傾向が認められた。

ヒアリング調査では、「広い更衣室」「収容台数の多い駐車場」「キッズスペースの設置」「大会等の生配信やライブ中継ができる通信環境の充実とライブカメラの常設」「利用しやすい場所にある駐輪場」「明るい照明」「わかりやすい案内図」などを求めている声が確認できた。



## ②武蔵野温水プール

武蔵野温水プールの設備等に対する満足度をみると、「利用料金の適切さ」(97.2%)が最も多く、次いで「1回の利用時間帯の適切さ」(92.9%)、「職員・スタッフの対応の良さ」(91.4%)、「開館時間の適切さ」(90.0%)、「感染症対策の徹底」(85.7%)となっている。

武蔵野温水プールの設備等の満足度と重要度から、重要にもかかわらず満足していない項目を抽出すると、「トイレの快適さ」「更衣室・シャワー等の充実さ」「施設の清潔さ」「防犯上の安全さ」「施設情報のわかりやすさ」となっており、優先的な課題であることがわかる。

武蔵野温水プール（屋内プール）や武蔵野プール（屋外プール）の改修工事に期待することについて、武蔵野総合体育館と同様に上位5項目を比べたところ、全ての対象で「広くてきれいな更衣室・シャワー・パウダールーム・洋式トイレ等の設置」が1位、「感染症対策の徹底（非接触式の水栓、換気設備、ゆとりある空間の確保）」が2位となっている。

「ジャグジーの設置」は、成人等と比べて関係団体と施設利用者の割合が高く、武蔵野温水プール（屋内プール）や武蔵野プール（屋外プール）に親しみのある人からより期待されているとうかがえる。

「性別」にみると、武蔵野総合体育館と同様に、女性は男性よりも「広くてきれいな更衣室・シャワー・パウダールーム・洋式トイレ等の設置」と「感染症対策の徹底（非接触式の水栓、換気設備、ゆとりある空間の確保）」が多くなっている。

「年代別」にみると、30歳代は「現在屋外にある幼児プールの屋内化」が多くなっており、子育て世代の特徴がうかがえる。

ヒアリング調査では、「飛び込み専用レーンの設置」「遊泳コースの増設」などを求めている声が確認できた。

## 4. 市のスポーツ環境

### (1) スポーツを支える担い手

市内の主なスポーツ支援団体やスポーツ活動団体、スポーツ関連団体は次の通りです。

市内の主なスポーツ団体等

分類	団体名	活動内容等
スポーツ支援団体	武蔵野市体育協会加盟団体	活動内容：生涯学習スポーツの振興を図り、市民の健康増進に寄与するため、市民体育大会、市民スポーツフェスティバルをはじめ、各種大会や教室、ジュニア育成事業等を開催。 種目数：36 種目 加入団体数：320 団体 加入者数：9,259 名（令和2年度）
	武蔵野市スポーツ推進委員協議会	活動内容：市民のスポーツ推進のため、学校や福祉施設等からの依頼により、スポーツ指導や審判、介護予防の取り組み「いきいきサロン」等、スポーツ・レクリエーション活動の企画・運営補助を行う。年1回の大きなイベントとしてファミリースポーツフェア（武蔵野市教育委員会との共催）を企画・開催し、その他市のスポーツイベントにも協力している。近年は障害者スポーツの普及にも力を注いでいる。 委員数：26 名（5月18日現在。男性12名、女性14名。）
スポーツ活動団体	青少年関係団体	活動内容：市内を拠点として、子ども会・野球・サッカー・文化事業等の青少年健全育成を目的として活動。 種目数：11 種目 登録団体数：36 団体（令和3年度）
	社会教育関係団体	活動内容：自主的、自発的に社会教育活動を行う。 登録団体数：253 団体（令和3年5月18日現在。うちスポーツに関する団体は62 団体。）
	（一社）横河武蔵野スポーツクラブ	活動内容：サッカー・ラグビートップチーム及びアカデミー（育成）を運営や、かけっこ教室、個人で参加できるソサイチ、女性限定ゆるフットなどを開催。武蔵野市及び武蔵野市教育委員会と相互協力に関する協定を締結しており、市主催イベント、タグラグビー授業導入支援、スポーツ教室等、各種事業の実施に協力している。
	早朝野球連盟	活動内容：市内在住・在勤の市民で編成されたチームが加盟し、リーグ戦を開催。 加盟チーム数：9 チーム（令和3年度）
	少年野球連盟	活動内容：連盟主催事業として加盟チームが各種大会に参加。武蔵野市からの受託事業として、年3回の野球大会及び審判講習会を開催。 加盟チーム数：11 チーム（令和3年度）

分類	団体名	活動内容等
スポーツ関連団体	教育機関(大学)	<p>武蔵野市内には亜細亜大学、成蹊大学、日本獣医生命科学大学があり、近隣市の武蔵野大学、東京女子大学とともに、武蔵野地域五大学として講演会などの事業を行っている。亜細亜大学、成蹊大学とは、人的交流、情報共有および物的活用を図り、相互に協力して人材育成と地域社会発展に寄与することを目的として、平成26年4月に包括連携協定を締結。市のスポーツ振興に関する複数の事業に大学教員や学生が携わっている。また、杏林大学とも令和2年1月に包括的な連携協定を締結している。</p> <p>教員：第二期武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）策定委員会、武蔵野市オリパラ実行委員会委員、ラグビー授業導入支援など</p> <p>学生：スポーツ推進委員（4名）、ラグビー授業導入支援、野外活動センター体験事業、市主催スポーツイベントへの協力など</p>
	(公財)武蔵野生涯学習振興事業団	市立スポーツ施設のほか、プレイス、吉祥寺図書館、自然の村の指定管理者として施設を管理・運営し、市民の生涯学習及び活動の支援並びにスポーツ振興に関する事業（教室やイベント開催、施設の個人開放、情報発信等）を実施している。
	(公財)武蔵野健康づくり事業団	健康づくり推進員、人材バンク、はつらつメンバーとの協力による健康づくりの意識啓発事業のほか、健康づくりに関する調査研究・情報発信、市民の健康管理事業を実施している。

出典：武蔵野市（令和2年2月）「ココKARAスポーツ! むさしのスポーツマップ&ガイド 第5版」

## (2) スポーツを楽しむ場・施設

市内の主なスポーツ施設や公園等は次の通りです。

### 市内の主なスポーツ施設や公園等

施設種別	具体的な施設・施設数等
市立スポーツ施設	武蔵野総合体育館 武蔵野温水プール・武蔵野プール 武蔵野陸上競技場 緑町スポーツ広場 武蔵野庭球場 武蔵野軟式野球場 ストリートスポーツ広場 東部スポーツ広場
市立小中学校（学校施設開放）	小学校：12校（校庭、体育館） 中学校：6校（校庭、体育館、テニスコート、武道場（一部）、温水プール（四中のみ）） ※利用には団体登録が必要
都立高等学校（学校施設開放）	2校（いずれもグラウンド、テニスコート） ※利用には団体登録が必要。
市立公園	広場や健康遊具がある公園は27か所 ※団体使用の場合は使用許可申請が必要
都立公園	3園 井の頭恩賜園、小金井公園、 武蔵野中央公園・武蔵野中央公園スポーツ広場
コミュニティセンター	20か所 ※施設により体育室や卓球台、健康体操等で利用可能な部屋あり
民間スポーツ施設	44施設 ※地図を作成する時点で市が存在を把握し、かつ掲載の許可があった施設数
その他	武蔵野プレイス（館内に卓球、ボルダリング、軽運動ができる無料のオープンスペースあり）

出典：武蔵野市（令和2年2月）「ココKARA スポーツ! むさしのスポーツマップ&ガイド 第5版」

次のページまたは参考資料に施設プロットした地図を掲載したいが相談希望

## 5. 課題のまとめ

### (1) 誰もがスポーツを楽しめる機会の創出

子ども向けのスポーツ教室は力を入れて実施してきましたが、全国と比べるとスポーツを好きな子どもの割合は低く、さらに、小学生よりも中学生においてスポーツ実施の二極化傾向がより一層顕著となっていることもわかっています。

トップアスリートや民間スポーツクラブ等との官民連携により、スポーツの魅力や基本的な運動動作の向上に資する技術や知識を伝える機会や、レクリエーション要素の強い活動の機会の提供など、子どもに関心の高いテーマと連動させた取組が必要です。

本市は週1日以上スポーツ実施率が全国や東京都と比べて高くなっています。この結果は、全ての市民に対してスポーツを実施する機会や場を着実に提供してきた取組実績に加えて、他都市では実施率の低いとみなされる女性や小さな子どもいる家族向けの教室や、総合体育館に通いづらい高齢者をはじめとする市民向けのアウトリーチ事業といった取組の影響も一部反映されていると考えられます。

一方、子育て世代・働き盛り世代のスポーツ実施率は他の年代と比べて低くなっており、これまでも事業対象としてきた女性や高齢者などとともに力を入れて取り組む対象として位置付ける必要があります。

また、武蔵野市のスポーツ推進のためには「初心者またはひとりでも参加できる機会・場の充実」が求められていますが、これまでスポーツを実施してきた人はきっかけづくりよりも、日頃の活動の成果を発揮する場に参加していると考えられることから、スポーツに対する関心・行動の段階に応じた取組が求められます。

過去1年間にスポーツを実施していない1割弱の市民にとってニーズの高いスポーツはウォーキングでしたが、スポーツを実施した9割強の市民は野外活動や水泳などのニーズが高いことがわかりました。子どもも含め、競技性の強いスポーツだけではなく、自然の中で活動するシーズンスポーツやアウトドアスポーツなどの取組の充実が求められます。

東京2020大会の開催を契機に、スケートボードやスポーツクライミング、自転車(BMX フリースタイル)などのアーバンスポーツへの関心が高まり、新たなスポーツの楽しみ方が広がりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、動画配信サービスを利用してスポーツを実施することが増えた市民は一定程度いることがわかっています。本市が既に配信している動画や、スポーツ庁や著名アスリート等が配信している様々な動画を組み合わせ、市民のニーズに応じた動画コンテンツを提供することが必要です。さらに、ICTの技術革新の進展によりVR・ARなどを活用したスポーツもより一層普及すると考えられます。スポーツの新たな楽しみ方の創出やスポーツ実施率

の向上、障害者がスポーツに親しみやすい環境整備に向けて、ICT の活用方法を検討する必要があります。

## (2) 障害者スポーツの推進

障害者を対象とした身体を動かすための取組は実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、障害の無い市民と同様、障害者も運動不足に陥っており、寄り添った支援も受けづらい状況となっています。

外出できない障害者が自宅でも取り組めるプログラムや、身近な居場所・施設において緩やかなレクリエーションやスポーツに親しめる機会の創出が必要であるとともに、障害者においてもスポーツに対する関心・行動の段階に応じた取組が求められます。

障害者を支える人材として、障害の種別や程度の違いへの配慮ができることは前提としつつ、福祉の専門的なサポート人材だけではなく、見守りや付き添いなどの非専門的なサポート人材も必要とされています。また、他分野や他団体等と連携し、障害者のスポーツ活動を生涯にわたり切れ目なく支援することも重要です。

さらに、障害者がより一層スポーツを楽しむことができるように、スポーツ施設のバリアフリー化や参加しやすさに配慮した情報発信などを行うことも必要です。

東京 2020 大会の開催決定を契機に、障害者スポーツの普及・啓発により、障害者理解を深め、共生社会の実現に向かう機運が高まっています。本市では、パラリンピック競技種目のボッチャ大会の開催環境が整っており、障害者スポーツを体験したり、観戦したりすることで、障害者スポーツに興味を持つきっかけにつながります。今後も障害者スポーツの推進を通して障害への理解を深める取組が必要です。

## (3) スポーツを支える担い手づくりと活動支援

一般市民にとって、スポーツ指導者には、勝ち負けで判断するのではなく、人間性や人格を高める指導を望む声がみられたことから、この点を踏まえて資質向上のための取組を実施する必要があります。また、指導者の確保・定着にあたっては、単なるスポーツの指導という側面だけでなく、地域の人とのつながりや交流が育まれるように促すとともに、活動の場を提供し続けることが重要です。

子どもがスポーツ指導者に最も求めることは技術・知識であり、さらに学校運動部活動の地域移行化が進むと考えられることから、部活動指導員の確保・定着に向けた取組が必要となります。

スポーツボランティア実施希望率は実施率の2倍以上となっており、市民全体のニーズの高さがうかがえます。スポーツを支える新たな担い手を増やすためには、敷居が高く負担の大きいものではなく、一人ひとりの興味・関心、ライフスタイル、体力などが異なることから、その違いがあっても参加できる仕組みや、緩い関わりへの許容、負担を広く浅く分配する工夫が必要です。さらに、スポーツを支える担い手づくりにおいても、スポーツボランティアに対する関心・行動の段階別の支援が必要です。

男性の方が女性よりもスポーツボランティアを実施していることがわかっていますが、今後も、女性のスポーツも推進するためには、女性自身が支える担い手となり、さらに関連団体におけるリーダーとしても活動できるような取組が必要です。

加えて、障害のある当事者が自ら講師・リーダーとなることで障害者から共感が得られるため、当事者が発信者となるような仕組みも求められます。

スポーツボランティアの文化をより一層醸成していくため、子どもの頃からスポーツボランティアを体験できる機会も創出していきます。

#### (4) スポーツに親しむ環境づくり

本市には市立総合体育館をはじめ、●●などのスポーツ施設や●●などの公園があります。また、学校体育施設の開放も行っています。スポーツをより充実して楽しむためには、スポーツ施設が不可欠であることから、今後も、市内にあるスポーツのできる場の有効活用が必要です。

本市には武蔵野市体育協会や武蔵野市スポーツ推進委員協議会などのスポーツ支援団体が市民のスポーツ活動を支えています。これまで築いてきた市民のスポーツ環境を今後も守るために、スポーツ支援団体との連携・協働が必要です。また、仲間と定期的に活動する場として重要な役割を担っているスポーツ活動団体の自立支援を図ります。

さらに、スポーツを実施する場や応援する機会をより一層充実させていくため、これまで連携・協働してきたスポーツ支援団体に加えて、トップスポーツチームや民間企業等との連携を強化することが重要です。

市民にとって、本市のスポーツ情報の入手経路は「市報むさしの」が多く、配布している冊子への評価も高いことから、紙媒体での情報発信の重要性がうかがえます。一方、ホームページやSNS等のICTを活用した情報の提供も求められています。情報の発信にあたっては、デジタル化に弱い層への配慮や、だれにでも分かりやすいユニバーサルデザインに留意しながら、ウェブ媒体と紙媒体とを組み合わせた情

報発信が求められます。

ライフスタイルの変化により、スポーツサービス産業も多種多様化しています。本市のスポーツ施設の情報だけではなく、民間施設も含めたスポーツ関連の情報を集約・発信し、個々人が生活・興味にあった情報を自由に入手できるような提供方法の研究が必要です。

## **(5) 武蔵野市の特性を生かしたスポーツ文化の醸成**

本市が捉えるスポーツ観戦には、オリンピック・パラリンピックやプロスポーツの大会等だけではなく、家族が出場する大会等の観戦や応援も含みます。

選手やチームの応援は市民のニーズが高い事項であり、ラグビーワールドカップ 2019(TM)や東京 2020 大会の影響を受けて、海外や日本各地から訪れる選手や観戦者をもてなす取組も行われています。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のように観戦できる環境ではなくなりつつあるため、パブリックビューイングやインターネットなど、多様な観戦の在り方を検討する必要があります。

さらに、応援・観戦する理由を創るため、応援するチームや選手を見つけるきっかけづくりや大規模スポーツ大会の誘致も必要です。

本市ではラグビーワールドカップ 2019(TM)や東京 2020 大会の開催を通じて、ラグビーを含めたスポーツの気運を高めてきており、本市にゆかりのあるトップアスリートやトップチームとの交流実績や、東京 2020 大会のホストタウンとして応援したルーマニアとのつながりも重要なレガシーとして捉えることができます。このような大規模スポーツ大会のレガシーを有効に活用することが重要です。



## 第3章 基本概念・施策



# 1. 基本理念・基本方針

## (1) 基本理念

武蔵野市の第六期長期計画（令和2年度～11年度）では「誰もが安心して暮らし続けられる魅力と活力があふれるまち」を市の10年後の目指すべき姿として掲げています。

また、市では、これまで武蔵野市スポーツ振興計画で示す考え方や方針に基づき、市民がスポーツに親しむことのできる施策を展開してきました。一方、スポーツを取り巻く社会情勢や政策動向は大きく変化しています。今後も個人のライフスタイルや価値観の多様化が進むと予想される中で、市民一人ひとりがスポーツの価値を享受できるように、スポーツ施策を展開することが必要です。

以上のことを踏まえ、本計画では、性別、年齢、障害の有無などを問わず、市民の誰もがスポーツの魅力や価値を実感し、自由に気軽にスポーツを楽しみ、豊かな生活を送ることができるようなまちを目指します。さらに、スポーツを通して人と人とのつながりを創出し、仲間づくり、地域づくりへと発展しながら魅力と活力があふれる持続可能なまちを目指し、「市民の誰もがスポーツを楽しみ豊かな生活を送り続けられる武蔵野市」を基本理念とし、実現に向けて取り組んでいくこととします。

**市民の誰もがスポーツを楽しみ  
豊かな生活を送り続けられる 武蔵野市**

## (2) 基本方針

「市民の誰もがスポーツを楽しみ豊かな生活を送り続けられる 武蔵野市」という基本理念を実現するため、施策展開の方向性として、5つの基本方針を掲げ、施策を推進していきます。

### I 誰もがスポーツを楽しめる機会の創出

子ども、子育て世代・働き盛り世代、高齢者、女性など、障害のあるなしにかかわらずすべての市民がスポーツを楽しむための機会をつくり提供します。子どものスポーツ実施率の二極化や、子育て世代のスポーツ実施率の低下など、スポーツに対する関心・行動の段階に応じた取組を行います。

競技性の高いスポーツだけではなく、スポーツをはじめのきっかけとなるレクリエーションや遊びの要素の強いアウトドアスポーツ、シーズンスポーツの推進を図ります。また、東京 2020 大会を契機に注目を集めたスケートボードなどの多様化するスポーツの紹介や ICT を活用したスポーツの推進を図ります。

都心にある武蔵野市として野外活動は重要な取り組みのひとつです。自然とふれあう楽しみや自然への畏怖などを伝える取組を行います。

### II 障害者スポーツの推進

障害を持つ当事者自身がスポーツを楽しむことができるように、身体を動かすことに対する意欲が高まり、レクリエーションや緩やかなスポーツの経験を重ねて継続的に取り組める機会を創出します。

障害者のだれもがスポーツに安心して親しめるように、障害の種別や程度に配慮しながら人材、施設、情報の面から環境づくりを推進します。

広く障害への理解を深め、共生社会の実現を目指すために、障害者スポーツの体験や観戦の機会を提供するとともに、インクルーシブスポーツの普及・啓発を図ります。

### III スポーツを支える担い手づくりと活動支援

昨今、社会の関心を集めているスポーツ・インテグリティの浸透、部活動の安定した実施に向けた指導者の確保など、指導者に求められる資質とスキルを兼ね備えた人材を育成します。

スポーツを支える人材を増やすため、支える活動そのものの魅力や楽しさを発信し、気軽に参加できる体験の機会をつくります。また、一度体験した人が続けて活動できるように継続の機会を設けます。

スポーツは多様な人材に支えられることで、より実施者の気持ちを理解して寄り添う環境ができます。障害当事者が自ら指導者となることや、女性がリーダーとなること後押しするような研修などを行います。さらに、子どものボランティア体験の場をつくり、将来自分が教えてもらった環境に戻って指導するといった好循環を生むきっかけにもつなげていきます。

## IV スポーツに親しむ環境づくり

引き続き、既存のスポーツ施設や公園、学校体育施設等を活用し、スポーツの場を提供します。

武蔵野市体育協会やその加盟団体、スポーツ推進委員との連携をより強化するとともに、生涯学習や健康、文化芸術といった関連団体、民間のスポーツクラブ等と連携し、スポーツを楽しむ機会や場の充実を図ります。

ホームページや SNS などのウェブ媒体、チラシやポスターなどの紙媒体などを組み合わせて、情報の内容や対象に合わせた情報発信を行います。また、民間施設も含めてスポーツ関連の情報を集約・発信し、自由に入手できるような提供方法を研究します。

## V 武蔵野市の特性を生かしたスポーツ文化の醸成

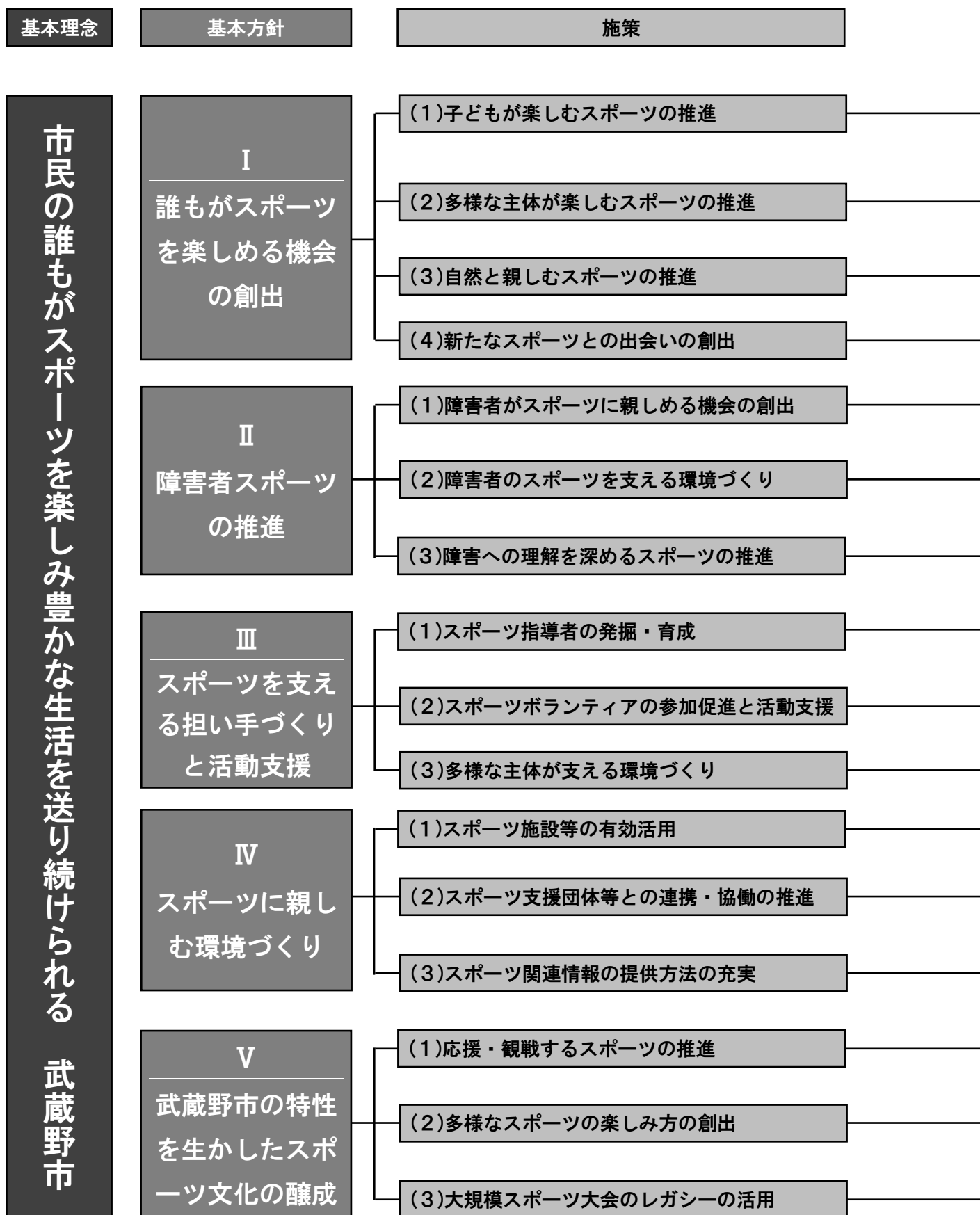
地域の大学や地域で活動するスポーツ団体を応援する機会をつくり、地域の一体感の醸成や地域のつながりを育みます。市にゆかりのあるトップアスリートとの交流機会の機会や、各種競技種目や選手のあゆみなどを紹介することで、より深いスポーツの楽しさの理解につなげます。

観戦する喜びや感動の共有を提供するため、インターネットやパブリックビューイングなどの多様な観戦環境の充実や機会の提供を図ります。

学び知ることはスポーツをより一層魅力的なものにしスポーツをする動機付けにもなります。音楽等との融合もスポーツの新たな楽しみ方のひとつです。生涯学習・芸術文化等の他分野との横断的な取組を行います。

ラグビーワールドカップ 2019(TM)や東京 2020 大会の開催を契機に実施した取組を通じて築いてきた地域の団体とのネットワーク、運営のノウハウ、交流の実績を活かし、今後の取組へとつないでいきます。

## 2. 施策体系



## 取組

- ① 基本的な運動動作と体力の向上のための取組
- ② スポーツの魅力や楽しさを体感できる機会の提供
- ③ 日頃からの練習や活動の成果を披露する場づくり

- ① 子育て世代・働き盛り世代へのスポーツに親しむ機会の提供
- ② 高齢者・女性へのスポーツに親しむ機会の提供
- ③ 全ての市民へのスポーツに親しむ機会の提供

- ① 自然とふれあう野外活動の充実
- ② シーズンスポーツやアウトドアスポーツの推進

- ① アーバンスポーツなど新たな種目の紹介、普及・啓発
- ② デジタルを活用したスポーツの推進

- ① 障害者が身体を動かす楽しさを体感できる機会の提供
- ② 障害者がスポーツを継続して楽しめる機会の提供

- ① 障害者のスポーツ活動を支える人材育成の取組
- ② 障害者がスポーツに取り組みやすい施設整備の充実
- ③ 障害者の参加のしやすさに配慮した情報発信の充実

- ① 障害者スポーツの魅力や楽しさを実感できる機会の提供
- ② インクルーシブスポーツの普及・啓発と機会の提供

- ① スポーツ指導者の資質向上のための取組
- ② スポーツ指導者の活躍の場を拓ける取組
- ③ 部活動指導員の充実

- ① 気軽に参加できるスポーツボランティアの機会の提供
- ② スポーツボランティアの活動継続と定着を図るための取組

- ① 女性や障害者等のリーダーの育成
- ② 子どもがスポーツボランティアを経験できる機会の提供

- ① 既存のスポーツ施設や公園、学校体育施設等の場の活用

- ① スポーツ支援団体との連携強化
- ② スポーツ活動団体の自立支援の推進
- ③ スポーツ環境の充実に向けた民間企業等との連携強化

- ① 多様な媒体による情報の発信・拡散
- ② スポーツ関連情報等の集約・活用

- ① 大学スポーツや地域スポーツを応援する機会の提供
- ② 多様なスポーツ観戦環境の充実
- ③ 応援モラルの定着を図るための取組

- ① 芸術文化等の分野横断的なスポーツの楽しみ方の創出
- ② トップアスリートとの交流機会の提供

- ① ラグビーワールドカップ 2019(TM)のレガシーの活用
- ② 東京 2020 大会のレガシーの活用
- ③ スポーツを通じた国際交流

### 3. 具体的な施策

#### I 誰もがスポーツを楽しめる機会の創出

##### (1) 子どもが楽しむスポーツの推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

##### ①基本的な運動動作と体力の向上のための取組

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

##### ②スポーツの魅力や楽しさを体感できる機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

##### ③日頃からの練習や活動の成果を披露する場づくり

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●



## (2) 多様な主体が楽しむスポーツの推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ①子育て世代・働き盛り世代へのスポーツに親しむ機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ②高齢者・女性へのスポーツに親しむ機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ③全ての市民へのスポーツに親しむ機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### (3) 自然と親しむスポーツの推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ① 自然とふれあい野外活動の充実

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ② シーズンスポーツやアウトドアスポーツの推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### (4) 新たなスポーツとの出会いの創出

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ① アーバンスポーツなど新たな種目の紹介、普及・啓発

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ② デジタルを活用したスポーツの推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## Ⅱ 障害者スポーツの推進

### (1) 障害者がスポーツに親しめる機会の創出

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ①障害者が身体を動かす楽しさを体感できる機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ②障害者がスポーツを継続して楽しめる機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## (2) 障害者のスポーツを支える環境づくり

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ① 障害者のスポーツ活動を支える人材育成の取組

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ② 障害者がスポーツに取り組みやすい施設整備の充実

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ③ 障害者の参加のしやすさに配慮した情報発信の充実

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### (3) 障害への理解を深めるスポーツの推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ①障害者スポーツの魅力や楽しさを実感できる機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ②インクルーシブスポーツの普及・啓発と機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

# Ⅲ スポーツを支える担い手づくりと活動支援

## (1) スポーツ指導者の発掘・育成

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ①スポーツ指導者の資質向上のための取組

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ②スポーツ指導者の活躍の場を拡げる取組

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ③部活動指導員の充実

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## (2) スポーツボランティアの参加促進と活動支援

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ①気軽に参加できるスポーツボランティアの機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ②スポーツボランティアの活動継続と定着を図るための取組

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## (3) 多様な主体が支える環境づくり

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ①女性や障害者等のリーダーの育成

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ②子どもがスポーツボランティアを経験できる機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## IV スポーツに親しむ環境づくり

### (1) スポーツ施設等の有効活用

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ①既存のスポーツ施設や公園、学校体育施設等の場の活用

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### (2) スポーツ支援団体等との連携・協働の推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ①スポーツ支援団体との連携強化

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ②スポーツ活動団体の自立支援の推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ③スポーツ環境の充実に向けた民間企業等との連携強化

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●



### (3) スポーツ関連情報の提供方法の充実

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ①多様な媒体による情報の発信・拡散

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ②スポーツ関連情報等の集約・活用

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## V 武蔵野市の特性を生かしたスポーツ文化の醸成

### (1) 応援・観戦するスポーツの推進

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ①大学スポーツや地域スポーツを応援する機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ②多様なスポーツ観戦環境の充実

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ③応援モラルの定着を図るための取組

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## (2) 多様なスポーツの楽しみ方の創出

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ①芸術文化等の分野横断的なスポーツの楽しみ方の創出

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ②トップアスリートとの交流機会の提供

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### (3) 大規模スポーツ大会のレガシーの活用

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ①ラグビーワールドカップ 2019(TM)のレガシーの活用

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ②東京 2020 大会のレガシーの活用

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

#### ③スポーツを通じた国際交流

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## 4. 重点施策

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### (1) ××××○××××○

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

### ①××××○××××○

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## 第4章 体育施設類型別施設整備計画



# 1. xxxxxOxxxxxO

xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO

## (1) xxxxxOxxxxxO

xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO

## ① xxxxxOxxxxxO

xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO  
xxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxOxxxxxO



## 参考資料



## 1. 武蔵野市第二期スポーツ振興計画策定の経過

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## 2. 用語説明

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

## 3. 武蔵野市第二期スポーツ振興計画策定委員会委員名簿

××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○  
××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○×  
×××○××××○××××○××××○××××○××××○××××○××××●

